

## 多彩!教室で活躍するJET-ALT

取組の主体			取組の対象				地域の国際化			特色ある取組			
JET-ALT	任用団体	CIR等との連携	児童・生徒			教員	住民	異文化理解	地域活性化	多文化共生	長期休業中の取組	配置の工夫	デジタルツールの活用
			未就学児	小学	中学	高校							

### No. 3 児童の表現力を高める「チャレンジタイム」の実践

実施時期：令和4年～現在  
任用団体名：新潟県柏崎市

#### 取組のポイント

- 様々なJET-ALTに対して、自分のことを伝えたり、相手のことを聞いたりすることを通して、英語を使う楽しさを味わい、積極的にコミュニケーションをとろうとする態度をはぐくむことがねらい。
- 児童は1年間の学びをフル活用しながら、ゲストALTと1対1で3分程度のスモールトークを楽しむ。

#### 任用団体の基本情報

人口：78,167人

※令和5年4月1日現在

JETプログラム参加者の人数：(ALT) 2人 (CIR) 0人 (SEA) 0人

学校数：小学校20校、中学校11校

#### 取組の背景・課題

従来のパフォーマンス課題では、普段の授業でかかわりのあるJET-ALTに対してのスモールトークやプレゼンテーションを行うため、お互い知っている状況で自己紹介をするなど、コミュニケーションを図る必然性が乏しく、児童の主体性や積極性をはぐくむには困難があった。

そこで、令和2年に英語専科教員の発案により、普段はかかわりのない複数のJET-ALTに対して、自己紹介や好きなものについての話題等で会話することとした。これにより、コミュニケーションを図る必然性が生まれ、児童の積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成をねらった。

#### 取組の内容

市の取組の中から、N小学校での事例を紹介する。

- 柏崎市立N小学校でのチャレンジタイムの実践内容

1 期日 令和5年2月1日(水) 5・6限(13:35~15:10)

2 対象 5年生：16名 6年生：6名

3 ゲストALT 3名(アンディ・シーラ・ジョー)

※ゲストALTのスケジュール調整は、教育委員会学校教育課指導主事が行った。

4 単元名『チャレンジタイム：外国の人に自己紹介しよう』

5 実施方法

①チャレンジタイムは、空き教室でゲストALTと児童一人の状態を実施する。

## 取組の内容（続き）

- ②児童はこれまでの学びを生かし、ゲストと1対1で3分程度のスモールトーク（自己紹介中心）を楽しむ。
- ③待機中は一人で練習したり、友だちをペアになって一緒に練習したりする。
- ④3回のチャレンジタイムが終了したら、ふり返しシートに感想を記入する。  
(New HORIZON Elementary 5 Check Your Step ①)

## 6 取組の様子



## 取組の成果・今後の展望

児童一人当たり、3分間のスモールトークを3回実践するため、回数を追うごとに会話の質や量が向上している。

この取組を単元のゴール活動として実施しているため、ゴールから逆算した単元づくりや授業づくりにつながり、児童も毎時間の授業がどのゴールに向かっているのかを把握しながら、意欲的に日々の授業に取り組むことができる。

チャレンジタイムは比較的小規模の小学校での実践例ではあるが、ALTの数を増やしたり、実施方法を工夫するなどして、規模の大きい小学校や中学校においても実践していきたい。

## 問合せ先

担当部署名：柏崎市教育委員会学校教育課

T E L : 0257-43-9132

M A I L : gakkyo@city.kashiwazaki.lg.jp

U R L : <https://www.city.kashiwazaki.lg.jp/soshikiichiran/kyoikuiinkai/gakkokoyoikuka/index.html>

